

海外情報

No.1

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年4月24日
情報ソースの調査日	2020年4月28日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月1日
日本語タイトル	SARS-CoV-2 (COVID-19) に対する運動。運動強度は重要か？ (肥満に関連するいくつかの間接的な証拠のミニレビュー)
情報ソース	Obesity Medicine
情報のカテゴリー	レビュー論文
発信地域	イラン
DOI	10.1016/j.obmed.2020.100245
URL	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/?term=32342019
要約	<p>肥満は COVID-19 のリスク因子である。</p> <p>COVID-19 の予防には、免疫力を高めることが重要である。</p> <p>運動は運動強度によって免疫系に与える影響が異なる。</p> <p>高強度運動では、炎症性サイトカインを抑制するという報告と増強させるという報告が混在している。</p> <p>一方、中等度強度運動は、炎症性サイトカインを減少させる効果があることが報告されている。</p> <p>そのため、中等度強度運動は COVID-19 予防に有効な可能性がある。</p>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	中等度強度運動を対象者に行わせることで、COVID-19 の感染や重症化の予防に有効かもしれない。